

最終更新日： 2024年3月5日

授業科目名 (講義題目)	組織行動			開講学期	後期
				曜日時限	木曜 I 限
				単位数	2
担当教員名	碓 邦生	講義コード	科目区分	対象学生	
		24176108	選択	1年生 / 2年生	
開講予定日	①10/3 ②10/10 ③10/17 ④10/24 ⑤10/31 ⑥11/7 ⑦11/14 ⑧11/21 ⑨12/5 ⑩12/12 ⑪12/19 ⑫12/26 ⑬1/9 ⑭1/16 ⑮1/23				
履修条件	特になし	キーワード	組織行動論、産業組織心理学、モチベーション論、キャリア、従業員エンゲージメント、ダイバーシティ		
全体の教育目標	組織行動論の基礎的な理論を学び、学んだ理論を職場で活用する応用力を身に着けることを目的とします。	個別の学習目業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織行動論の理論を理解し、適切な用語の使い方ができるようになること</li> <li>・実務上の課題に対して、組織行動論の理論を用いて解決策を考えること</li> </ul>		

授業の概要	<p>本講義の目的は、組織行動論の基礎的な理論を学ぶことで、職場で起きた課題に対して、「なぜそのような課題が起きたのかという原因の探索」と「課題解決のためにどのようなアプローチをとるべきか」という因果関係を分析する論理的思考力を身に着けることにあります。</p> <p>組織行動論で扱われる題材は、実務では勘と経験で乗り越えられてきたものが多くあります。そのこと自体は悪いことではありませんが、学術的に明らかにされてきた知見や理論を学ぶことで、勘と経験では得ることができなかった発想を知ることが出来、課題解決に役立てることが出来ます。座学で学んだ理論と実務経験を組み合わせ、課題を分析し、解決に繋げる思考力を開発します。</p> <p><b>【期末レポートについて】</b> 学期末にレポート課題の執筆と提出をしてもらいます。最終講義で提示される複数の課題文から1つを選び、本講義で紹介された理論を少なくとも1つを用いながら、どのように課題解決をするのかについてレポートを執筆し、提出していただきます。</p> <p><b>【レポート執筆の要件】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リーダーシップについて論じる際、理論の説明だけでなく、自分が具体的にどのような行動をとるのかについて具体例を持って説明してください。</li> <li>2. 自分の主張 (Opinion) と体験 (Experiences)、事実 (Facts) を峻別し、事実について述べる際は、必ず根拠となる参考文献情報を記載してください。</li> <li>3. 授業の中で取り上げた概念または理論を必ず援用してください。</li> <li>4. Word形式で提出をお願いします。(※ Macをお使いの方はファイル形式にご注意ください)</li> <li>5. 分量は最長でA4サイズで2ページ以内です。フォントは和文「MS明朝」または英文「Times New Roman」、10.5ptとしてください。</li> </ol> <p>以上の要件を満たしていない場合、内容の如何を問わずレポートの評定点はゼロとなるのでご注意ください。</p>
授業の最新情報 案内方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州大学Moodle</li> <li>・その他 ( Teams )</li> </ul>

<b>授業形態</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義・演習</li> <li>・ プレゼンテーション</li> <li>・ ディスカッション</li> <li>・ その他（Teams上での意見交換）</li> </ul>	<b>使用する教材等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライド資料（電子媒体）</li> <li>・ 映像・音声資料</li> </ul>
<b>授業の進め方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的には、知識を習得して専門知識を暗記するより、正解のない問いに対して学習した理論を活かしながら自分なりに考え、答えを導く思考力を鍛えることに重点を置いたプログラムとなっています。</li> <li>・ 各回の事前課題：九州大学Moodle上にアップロードされている課題に取り組んでもらいます。基本的には「簡単なクイズ」と「自由記述課題」の2つで構成されます。「自由記述課題」の中には、職場の同僚や友人などへの聞き取りなどの作業が求められることがあるため、余裕をもって取り組むようにお気を付けください。</li> <li>・ 各回の授業の初めに、事前課題を用いたグループ議論を行います。そのため、事前課題をせずに授業に臨むことがないように、ご注意ください。</li> <li>・ 理論について解説しているときにも、適宜、受講生の様子を見ながら質問を投げかけたり、短い時間のディスカッションを織り交ぜていきます。短い時には1分以内で自分の考えをまとめる瞬発力が求められることもありますのでご注意ください。</li> <li>・ 授業の最後には事後課題もあります。しかし、集中講義のため、事後課題は必須ではありません。事後課題の提出があったときには評定に加算されますが、提出しなくても評定に影響はありません。</li> </ul>		
<b>教科書及び参考図書</b>	<p>教科書の指定はありません。各回の講義では、Moodleにアップロードしている講義資料を用いて授業を行います。</p> <p><b>【参考文献】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開本浩矢（編著）（2014年）『入門組織行動論』中央経済社。</li> <li>・ 山口裕幸ほか（2020年）『経営とワークライフに生かそう！産業・組織心理学』有斐閣。</li> </ul>		
<b>試験・成績評価の方法等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前課題の提出（60％）</li> <li>・ 期末レポート（40％）</li> </ul>		